

御堂筋チャレンジ2021実施概要

- ① 道路の将来形と維持管理の検証、② 利活用形態の検証、③ 回遊性創出検証を主な目的として、ベンチ等による滞在空間化等を中心に実施
- アンケート調査やビデオ調査に加え、回遊性の検証調査（携帯アプリGPSデータ分析や滞在行动可視化調査）を実施し、取り組みを検証

実施目的

①道路の将来形と
持続的な管理形態
の検証

ベンチ配置、歩車
分離など沿道の将
来形を定め、官民
分担による持続的
な管理のあり方を
検証する

②コロナ下でのほ
こみちの利活用形
態の検証

コロナの日常下で
ほこみちでの利活
用の形態を実験し、
常設化へのルール
等を検証する

③エリアの回遊創出と
スマート化への検証

御堂筋・なんば駅前
広場からエリアへと
回遊を拡げていく方
策を、AIカメラや人
流データ等をもとに
検証する

実施概要・調査項目

ホテル日航大阪前

■実施時期

11月3日（水祝）
～11月16日（火）

■実施主体

NPO法人御堂筋長
堀21世紀の会（大
阪市指定・道路協
力団体）
／大阪市建設局

多目的カウンター・キッチン
カーによる滞在空間化

ビデオ調査

実施日 平：11月10日（水）
休：11月6日（土）

アンケート調査

対象 ・歩行者

配布日 平：11月11日（木）
休：11月13日（土）



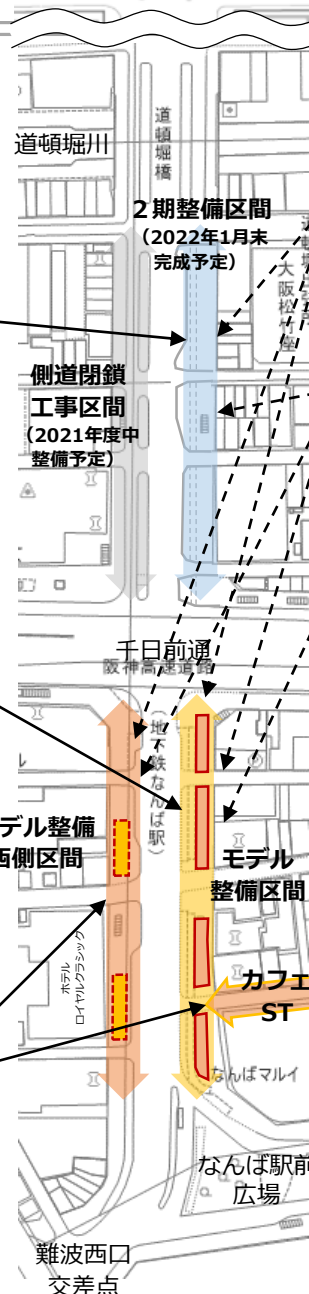
モデル整備区間・2期整備区間

■実施時期

11月3日（水祝）
～12月2日（木）

■実施主体

一般社団法人ミナ
ミ御堂筋の会（大
阪市指定・道路協
力団体）
／大阪市建設局

ベンチの設置による滞
在空間化ベンチ・デジタルサイネージ・モビ
リティハブの設置による滞在空間化沿道店舗のオープンカフェによる
回遊動線の創出

アンケート調査

対象 ・歩行者、自転車利用者

配布日 平：11月24日（水）
・25日（木）
休：11月21日（日）
・23日（火祝）

ビデオ調査

実施日 平：11月17日（水）
休：11月20日（土）

AIカメラ調査

実施日 11月11日（木）
～12月2日（木）

ゴミ・放置自転車調査

期間 平：11月24日（水）
休：11月23日（火祝）

携帯アプリGPSデータ
／地下鉄出入口ビーコン分析

期間 ※ビーコンは11月3日（水祝）
～12月2日（木）設置

滞在行动の可視化調査

期間 平：11月19日（金）
休：11月20日（土）

検証の観点

＜沿道の将来形の設定＞

- 以下の観点からの実施結果を踏まえ、
将来形を整理
 - i) 通行空間としての評価
 - ii) ベンチの効果・必要性
 - iii) 整備による副作用

＜持続的な管理のあり方＞

- 以下の結果を確認し管理のあり方を
整理
 - iv) ベンチタイプによる利用特性・
評価

＜利活用の形態＞

- 実施した項目毎の状況を確認し、
今後のルールに向けたあり方を検討
 - i) モビリティポートの利用状況
 - ii) オープンカフェの利用状況・評
価
 - iii) デジタルサイネージの利用状
況・評価

＜回遊拡大方法＞

- 下記のデータ取得結果等を踏まえ、
回遊を広げるための課題を整理
 - i) 人流データ等による回遊状況
の把握
 - ii) 周辺ネットワーク特性の分析
 - iii) AIカメラによる道路利用状
況の把握

確認結果

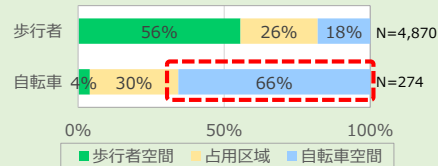
検証結果・今後の方向性

① 道路の将来形と持続的な管理形態の検証

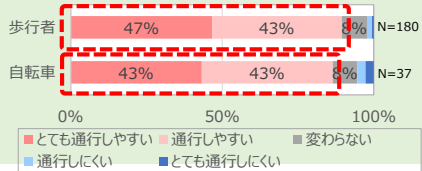
i) 通行空間としての評価

- ・ベンチでの分離により概ね区分を守って通行しており、**通行者の安全性が向上**
- ・滞留空間（ほこみち区域）を設定した場合でも**歩行者空間のサービス水準をクリア**

▼通行位置（2期整備区間東）※ビデオ調査



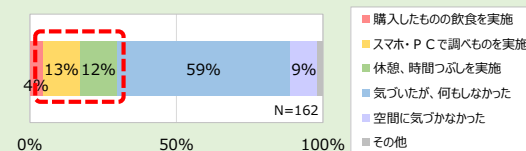
▼通行しやすさの変化（2期整備区間東）※アンケート



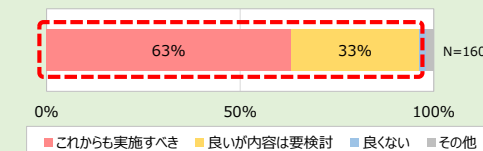
ii) ベンチの効果・必要性

- ・利用目的は飲食は少なく、休憩や電話・スマホが多い
- ・**多くが今後も設置すべきと評価**

▼休憩等の実施状況（モデル区間東）※アンケート



▼空間活用への意見（モデル区間東）※アンケート



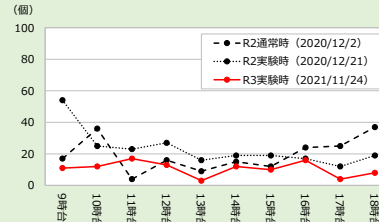
iii) 整備による副作用

- ・ベンチ等を設置しても、**ゴミや放置自転車について大きな変化はなかった。**

▼ゴミの状況



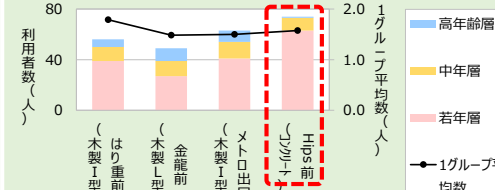
▼通常時とのゴミの量の比較



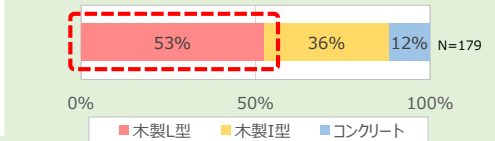
iv) ベンチタイプによる利用特性・評価

- ・交差点付近に設置したコンクリートタイプが多く利用されたが、アンケートでは**木製ベンチのニーズが最も高かった。**

▼ベンチ毎の利用状況（2期整備区間東）※ビデオ調査



▼望ましいベンチタイプ（2期整備区間東）※アンケート



<沿道の将来形の設定>

⇒**ベンチ・サインは設置する方向**とする。

⇒配置は**実験時の配置を基本**（歩行者空間と自転車空間の間）とする

<持続的な管理のあり方>

⇒御堂筋にふさわしいベンチの**太さ・デザイン**等について引き続き検討

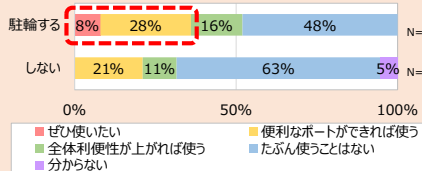
⇒ベンチやゴミ・自転車等の管理は、**道路管理者・道路協力団体の役割や、財源なども含めて引き続き検討**

② コロナ下でのほこみちの活用形態の検証

i) モビリティポートの利用状況

- ・**昨年度よりシェアサイクルの利用倍増**
- ・路上駐輪することがある人のニーズも高く、**放置の抑制に寄与する可能性**

▼シェアサイクル利用意向 ※アンケート



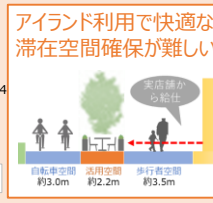
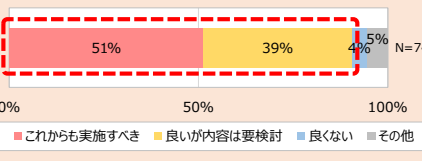
▼シェアサイクル利用数



ii) オープンカフェの利用状況・評価

- ・**設置は評価**されたが、十分な利用とならなかった
- ・本格展開に向けた道路幅員構成や**利活用形態、デザイン等の課題**が見えた

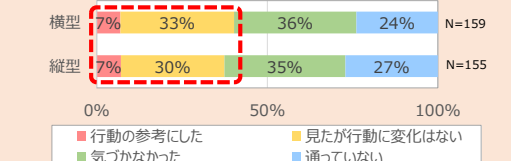
▼オープンカフェへの意見 ※アンケート



iii) デジタルサイネージの利用状況・評価

- ・一定活用がされ**設置すべきとの意見多い**
- ・ただし、広告を確保していく上で、**景観コントロール、協議プロセスの課題**等が見られた

▼デジタルサイネージの評価（モデル区間東）※アンケート



⇒モビリティポートについて、放置自転車対策としての位置づけも含め、**本格設置の議論を進める**

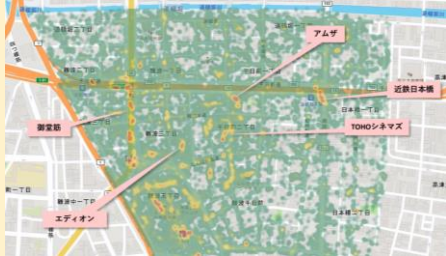
⇒オープンカフェ、デジタルサイネージで沿道、交差道路とも連携した収益活動の絵姿は示せたが、ベンチのあり方とも合わせ、**効果的な場づくり・仕組みづくりを引き続き検証**

③ エリアの回遊創出とスマート化への検証

i) 人流データ等による回遊状況の把握

- ・**なんば駅付近の比較的狭い範囲での回遊**が多い
- ・北側は比較的広い範囲の動きがあるが**千日前通を超える回遊は少ない**

▼期間中の周辺エリア来訪状況



ii) ネットワーク特性の分析

- ・南北の移動では**御堂筋は連続的に通行されにくい**
- ・難波駅からは千日前以南のエリアまではつながりが強いが、それより**北は遠く感じられる**

▼途中経路としての通り掛かりやすさ



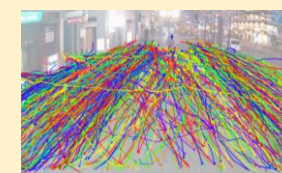
▼南海難波駅からの近接感



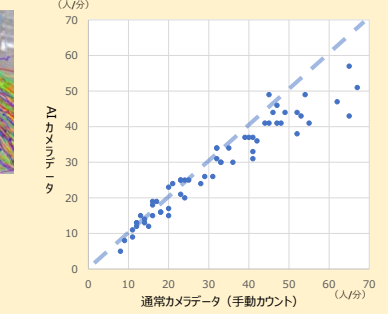
iii) AIカメラによる道路利用状況の把握

- ・交通量、滞在が多い曜日や時間帯、位置等の把握が可能

▼通行経路データ取得状況



▼AIカメラと人手観測の



⇒今後、それぞれの調査分析結果、**データの相互関係を理解し、考察を実施**

・**「回遊状況」をつくっている要因**を、歩行動線ネットワークや沿道の施設店舗の状況などから考察

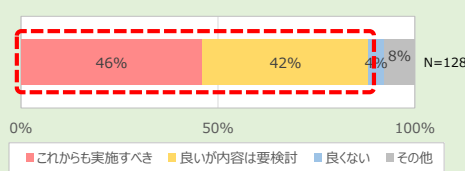
・**エリアの回遊性創出に向けた、**様々な戦略アイデアを検討

① 将来形と管理形態の検証

i) ベンチの効果・必要性

- ・休日午後では**20~30名/時程度の滞在**が見られた
- ・購入したものの飲食、休憩などの目的で利され、**今後も実施すべきと評価**されている

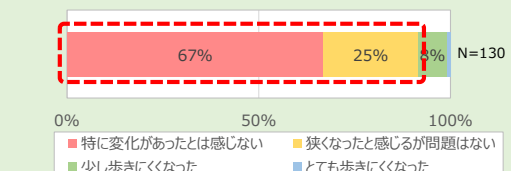
▼多目的カウンター等への意見 ※アンケート



ii) 整備による副作用

- ・今回の取り組みでは安全性、通行しやすさの低下などの**大きな問題はなかった**
- ・取り組みより、**きれいに使いたい・路上駐輪をしないようにしたい等の意識変化**がみられる

▼多目的カウンターにより歩きにくくなったか ※アンケート



⇒先行区間の取り組みも踏まえ、十分な幅員を確保しながら**カウンター等の設置を検討していく**

⇒周辺エリアも含めた放置自転車等への対応について、**適切な方法を検討していく**